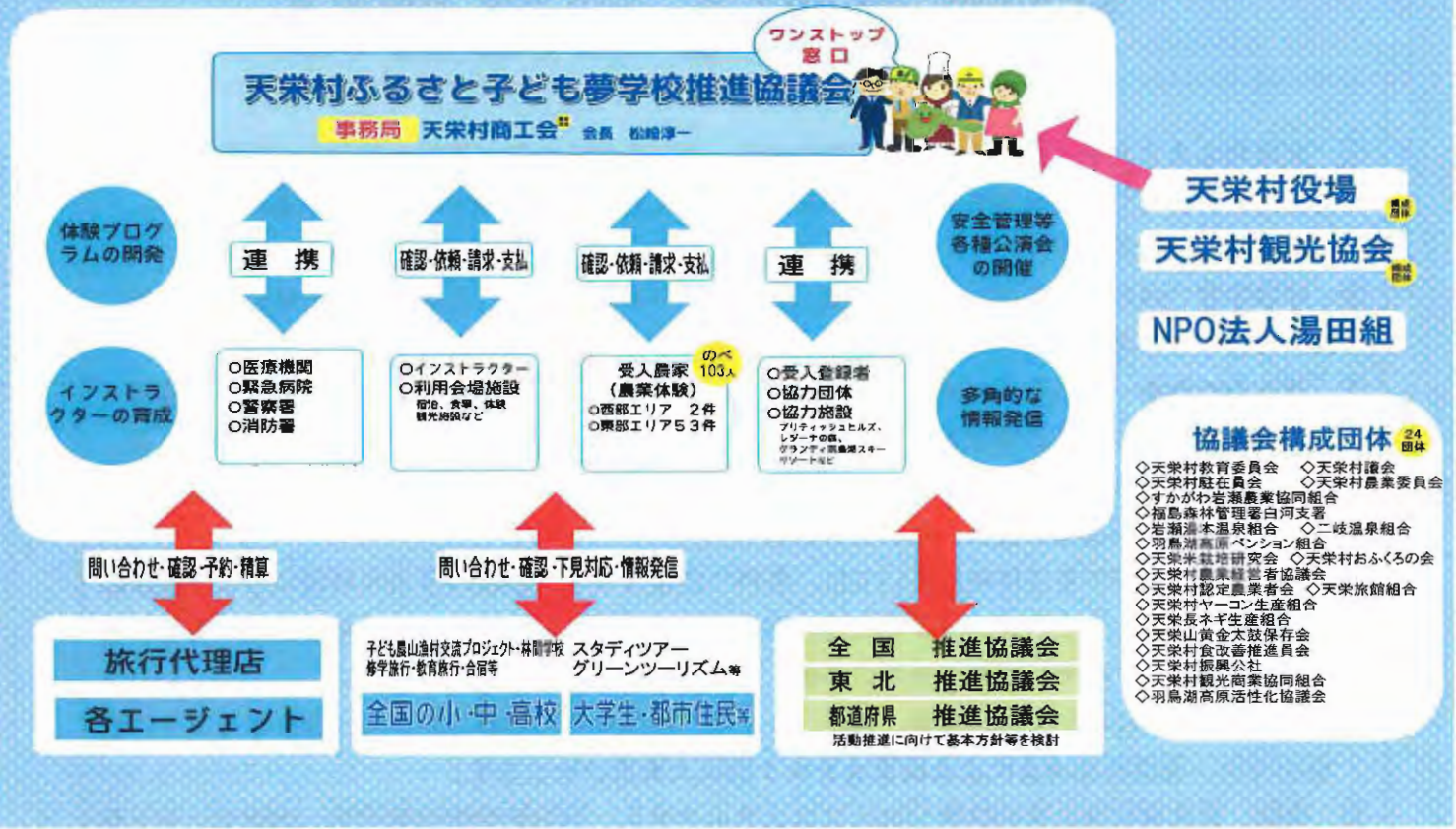


天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会体制概略図



緊急連絡体制概略図



◆必要に応じて関係機関への連絡を行います。

- ◎救急車・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
- ◎救急病院
 - 公立岩瀬病院・・・・・・・・0248 (75) 3111
 - 須賀川病院・・・・・・・・0248 (75) 2211
 - 白河厚生総合病院・・・・・・・・0248 (22) 2211
- ◎須賀川消防署長沼分署・・・・・・・・0248 (67) 3303
- ◎須賀川消防署長沼分署湯本分遣所・・0248 (84) 2112

- ◎須賀川警察署・・・・・・・・0248 (75) 2121
 - 天栄駐在所・・・・・・・・0248 (83) 2127
 - 湯本駐在所・・・・・・・・0248 (84) 2121
- ◎県中保健所・・・・・・・・0248 (75) 7800

- ◎その他医療機関
 - 田中医院・・・・・・・・0248 (82) 2589 内科・小児科
 - 天栄クリニック・・・・・・・・0248 (83) 1090 内科・心療内科
 - 湯本診療所・・・・・・・・0248 (84) 2005
 - 天栄歯科医院・・・・・・・・0248 (83) 2043 歯科
 - 大山歯科医院・・・・・・・・0248 (83) 2227 歯科

※病気・ケガの大小に関わらず、全て受入本部に報告があります。

安全と安心のために

- ① 天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会では、ありのままの農山漁村の暮らしを体験していただきたいと思っておりますので、十分に安全を考慮した上で、雨天でも作業体験を行います。
(基本的には雨具を着用)
- ② 体験学習「森のがっこう」の間伐作業、枝打ち、下草刈り等を行う場合やまた他の体験学習においても十分に考慮し、ヘルメット・ライフジャケット・軍手等の着用を徹底します。
- ③ 滞在中の食事(民泊受入農家、ペンション・旅館ペンション、昼食、その他「食」の体験等)には食物アレルギー等の情報を事前に調査し、体験旅行におけるすべての関係者に連絡致します。特に注意が必要なアレルギーを持つ児童を迎える場合、アレルギーに対するの注意事項等について協議会より情報の提供、指導を行います。
- ④ 民泊受入農家での生活体験においては、各戸に児童3~4人程度の受入をお願いし、常時目の届く様な体制にします。天栄村での生活体験は、ありのままの農山漁家の暮らしを共にすることに目的がありますので、食事や食事の準備、入浴、掃除等も一緒に行います。
- ⑤ 民泊受入農家においては、食事、入浴、トイレ、寝具などに関わる衛生面に留意するように指導を行い、保健所指導員による講習会を年1回以上実施いたします。
- ⑥ 事故、緊急事態等の連絡体制や対応マニュアルを整え、宿泊先や体験学習先、体験インストラクター、各利用施設等に周知徹底を行います。
- ⑥ 安全面にはできる限りの対策と指導を行います。万が一の場合に備えて当協議会としては、下記の各種保険に加入しております。また、学校へも一般の旅行保険への加入をお願いしております。
- ⑦ 集合地から民泊受入農家までの送迎は、各戸の自家用車にて対応いたします。事故等には当該車両の自動車保険での対応となります。
- ⑧ 事前調査等で知りえた個人情報は、適正に管理を行い、第三者への提供・開示等は一切行わない様に事務局だけでなく、各関係者にも指導、徹底いたします。

【加入保険】

●普通傷害保険

天栄村ふるさと子ども夢学校体験エリアの集合地に集合したときから解散するまでとなります。

●総合賠償保険

天栄村ふるさと子ども夢学校体験において、施設・民泊・体験先で天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会側の責任による事故等に対する賠償責任です。

●体験指導者賠償責任保険

体験指導中に指導ミスや運営ミス等によって体験指導者が被る賠償責任をカバーします。

(1) より「安全」・「安心」な児童の受入について

協議会が定める緊急連絡体制図のもとに天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会を受入本部とし、各体験学習時においては責任者を定め、体験時における事故（緊急事態）が発生した場合の連絡体制、迅速・的確な処置を周知徹底します。

(2) 迅速・的確な処置

発見者は直ちに責任者および受入本部に連絡しなければなりません。一般的に事故が発生した場合、第1に当事者に対する措置を最優先し、程度に応じて人命救助、健康保全のため必要・適切な処置をとるようにし、責任者および受入本部へ速やかに連絡してください。受入本部は状況により「いつ・どこで・だれが・どうした」を消防署、警察署、時には保健所等へ報告すると共に場合によっては、学校や児童の家族に知らせるようにしなければなりません。

(3) 緊急の連絡体制

事故（緊急事態）が発生した際、現場の責任者は直ちに受入本部に連絡し、状況を的確に報告しなければなりません。緊急時の連絡体制については、前出の「緊急時の連絡体制のイメージ」を基に行ってください。これにより関係機関等への連絡を速やかにでき、事故状況に応じた対処の手配・協力を得ることができます。また、受入本部等、現場にいない責任者もいかなる場合においても冷静沈着で迅速・的確な処置を判断する必要があります。

参考：救急手当から緊急連絡までの要点整理

①周辺と傷病者の観察および連絡	事故（緊急事態）の際、周辺の状況と傷病者の全身を観察し、状況を把握する。事故（緊急事態）の大小に関わらず、すぐに受入本部へ連絡する。	現場対応者 受入本部
②救急車の手配と応急処置	119便あるいは医療機関に場所、状況を伝え、応急処置の指示を仰ぎ、応急処置を行う。素人判断で勝手な処置はしない。	受入本部
③救急車到着までの対応	傷病者へのできる限りの対処・配慮を行う。 ①応急処置を続ける。 ②体を保温する。 ③周辺に協力を求める。④傷病者を安全な場所へ移動する。 ※但し、傷病の状態によっては動かさない方が良い場合もある。 ⑤傷病者に意識がある場合は言葉で励ます。 ⑥救急車が来た時は救急隊の誘導をする等。	現場対応者 担当責任者 受入本部 (現場へ向かう)
④重大事故時の連絡	警察、場合によっては保健所（食中毒等）や消防署へ連絡を入れる。	受入本部
⑤事故（緊急事態）の記録	事故発生時の日時、場所、負傷の程度、証拠品の確保。 対応の状況等、必要最低限の事項の記録。	受入本部
⑥関係者への連絡	引率者、学校、家族、宿泊先などへ一報を入れる。	受入本部
⑦保険会社への連絡	傷病者の名前と住所、連絡先および状況について報告する。 ※病気の場合は、損害保険の補償対象外になることがある。	受入本部
⑧報告書の作成	インデント・アクシデントレポートを基に正確な報告書を作成する。今後の再発防止の検討にあたる。	現場対応者 受入本部

緊急時の連絡体制イメージ

事故発生！！

- * 現場対応者からの連絡
- * 救急車要請の要否・状況確認

現場対応者

(体験インストラクター、宿泊受入者など)

連絡

指示

電話対応後、現地へ

(事務局員、現場に近い協議会メンバーが直行)

- * 第一報は可能な限り早急に行う。
- * 事故発生後の経過については適宜連絡。

受入本部・事務局

天栄村商工会内

☎ 94-2232

連絡

連絡

現地関係機関

警察署、駐在所、消防署
保健所、病院、天栄村役場
利用宿泊先、その他関係先等

児童・生徒等関係

引率者、児童の家族、学校等

事故の再発防止策の検討

- * 事故発生後の処理等は済み次第、文書にて事故報告を行う。

天栄村の農村教育体験旅行(学習)における安全対策について

農村教育体験旅行では、与える感動が大きい一方で、予測できない万が一の事態に備えて、事故等の未然の防止のために出来ることを受入に関わる登録者全員が確認、実施し、また万が一事故が起きた時の対応を整理しておく必要があります。安全面を考えるあまり、活動が消極的になってしまうということも考えられますが、危険をただ回避するという消極的な安全だけでなく、危険を予知し、それに対する万全の対策を立てるといった積極的な安全という考え方で行っております。

天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会では天栄村を訪れる児童・生徒・引率者の方々にとって安心できる場所でありたいと考えております。



■天栄村の安心項目■

◎多様な地域のインストラクター

わかりやすく、親切、丁寧に教えてくれる方に「受入登録者・体験インストラクター」としてご登録頂いております。体験時は目配り、気配りが可能な班編成にし、多角的な配慮に努めます。

◎起こりうる危険について事前説明の実施

体験開始前に、体験の学びの意義や大切さのほか、事前に予想される危険なことや事故防止のための指導・説明（オリエンテーション）を行います。

◎受入前に児童および生徒の健康等に関する情報を共有し、対処しています。

受入前に事前確認シートを配布・提出して頂き、アレルギーやその他おねしょ等、特別支援を要することがある場合に対応できるよう、受入農家と事務局で情報を共有し、受入農家に対しての対処アドバイス等を行います。※頂きました個人情報は十分に留意し、適切に管理を行い、第三者への提供・開示などは一切行いません。

◎積極的な声掛け、注意喚起

自然や物等の危険だけでなく、人為的な事故も想定し、積極的に声掛け、注意喚起を行い、目配り、気配りをします。

◎迅速な対応が可能な連絡体制の確立をしています。

万が一の緊急連絡時の為の緊急連絡ルートを確認しています。受入に関わるすべての登録者の方に緊急時でも情報が混乱したり、慌てることのないよう、すぐに目につく場所に連絡網を貼って頂くようお願いしています。また、引率の先生等の巡回等においては、事務局スタッフがサポート致します。

◎受入登録者（インストラクター）の方々へ研修会や講習会を実施しています。

より安全・安心な受入地域をめざし、また、危険箇所・危険事項等の最新の情報の共有や士気を高めるため、協議会主催で研修会・講習会を実施しています。

◎受入計画や準備品等の点検の徹底

受入計画の事前確認や救急セット、会場の整備や危険箇所の再確認等を徹底し、受入に備えています。

◎下見の実施

事務局や地域のインストラクター同伴による下見が可能です。事前に確認しておきたいことや、宿泊場所等の位置の確認、体験場所の確認等を行うことにより、引率の先生の事前負担を軽減できます。

◎振り返りを大切にしています。

受入後は振り返りを実施し、反省点・改善点の検討をするとともに引き継ぐべきノウハウを学び、より深い学びと感動、楽しい思い出づくりをまとめ、次の受入へとつなげていきます。

■事故等による実施判断基準の共有と安全対策

- ・プログラムの中止・継続は引率者の方との協議により判断します。
- ・児童・生徒の安全を最優先し体験を行います。多少のすり傷、切り傷程度であれば継続致しますが、緊急を要する重体・重傷等の場合は原則中止とさせていただきます。
- ・屋外体験は自然気象の変化も体験のひとつと考え、小雨程度であれば、雨具等を着用して決行致します。ただし、気象警報（大雨・暴風雨・洪水）が発令された場合および危険と判断されるような荒天時には原則中止とします。代替えで屋内プログラムを用意しております。また、晴天時でも前日の天候状況により、河川の増水等が懸念される場合は中止いたします。（川遊び体験等）
- ・地震等災害時の対応として、天栄村地域防災計画が示している避難場所・避難経路の把握をしております。災害時の情報伝達においては、「防災行政無線」により迅速な情報伝達を図っています。
- ・慣れない環境にいると体調を崩しやすいので、もし、児童・生徒等の体調が悪く、または、体力がないと判断し、体験への参加が困難であると認められる場合には、児童・生徒等に十分に説明し体験を中止し、他の体験に切り替える等の対応をさせていただきます。

■主な安全対策（一例）

- ・安全に体験を楽しむために、自然の中での危険に対する知識を持ち、対策をとることが必要です。
 - カヌー体験……………ライフジャケットの着用
 - 森の下刈り体験……………ヘルメットの着用、危険箇所・道具の使い方の説明
 - 川あそび体験……………ビーチサンダルの着用、危険箇所の説明
 - 竹細工体験……………軍手の着用、道具の使い方の説明
 - 食・味覚体験……………手洗いの励行、道具の使い方の説明
 - 農家宿泊（天栄村農村体験）……………受入農家の方への「安全管理マニュアル」により実施
 - 山や森等での体験……………長袖・長ズボン・帽子の着用、危険な箇所の説明



■加入保険について

- ・万が一の事故に備えて、天栄村ふるさと子ども夢学校推進協議会で保険に加入しております。受入登録者による自家用車に乗車の際は、当該車両の自動車保険にて対応致します。

旅行傷害保険			
死亡・後遺障害	5,000万円	賠償責任	1億円
入院日額	1万円	救済者費用	100万円

施設賠償責任保険 施設賠償責任保険 管理不備が原因でケガをしたなど			生産物賠償責任保険 生産物賠償責任保険 食中毒など		
対人	1名につき	7,000万円	対人	1名につき	7,000万円
	1事故につき	1億円		1事故につき	1億円
対物	1事故につき	1,000万円	対物	1事故につき	1,000万円

事前確認票

基本情報について					
お名前（ふりがな）		性別	生年月日		血液型
			平成	年	月 日生
平常体温	度	身長	cm	体重	kg
健康状態について					
現在の体調		好調・不調	乗り物酔いの有無	ある・なし	
体質について		アトピー・ぜんそく・アレルギー・けいれん発作・その他（ ）			
現在治療中、又は経過観察中の病気、けがはありますか？		ある→詳しい内容（ ）			
現在飲んでいるお薬はありますか？		ある→薬の名前（ ）			
持病の有無について		ある→持病の注意事項（ ）			
常用薬がありましたらご記入ください		ある→薬の名前（ ）			
持参する薬について		ある→薬の名前（ ） 服用方法：			
アレルギーについて					
アレルギーはありますか？		なし・ある			
あると答えた方(アレルギーの種類について詳しく。薬物の場合はその名称も明記)					
食物	飲み物	薬物	内部環境	外部環境	動物
そば 小麦 大豆 たまご ピーナッツ その他	牛乳 その他乳製品 着色料入果汁 その他	抗生物質 鎮痛剤 麻酔 その他	ほこり かび 洗剤など ゴム 金属 その他	花粉 草 木 その他	犬 猫 昆虫(蚊等) その他
その他気になること・伝えておきたいことや特別に配慮を要することがありましたらご記入ください					
(例：)					

※ご記入いただきました情報は本件の目的のみに使用するものとし、適切に管理を行い、第三者への提供・開示などは一切行いません。ご記入にご協力ください。

会長	局長				

事務局	事務局	報告者

インデント・アクシデントレポート

平成 年 月 日報告

天栄村ふるさと子ども夢学校

学校名		歳	男・女
氏名			
傷病名			

報告者	所属	
	氏名	

発生日時 平成 年 月 日 () 時 分

発生場所 種類内容	<input type="checkbox"/> 指示ミス <input type="checkbox"/> 技術ミス <input type="checkbox"/> 生徒誤認 <input type="checkbox"/> 転倒・転落 <input type="checkbox"/> 器具類誤操作 <input type="checkbox"/> 生徒同士の喧嘩 <input type="checkbox"/> 気象条件 <input type="checkbox"/> 災害 <input type="checkbox"/> 食事のミス <input type="checkbox"/> 事務および管理 <input type="checkbox"/> 情報の伝達 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 (
--------------	---

発生時の状況	----- ----- ----- -----
--------	----------------------------------

その後の対応	----- ----- -----
--------	-------------------------

発生の要因	----- -----
-------	----------------

原因に対する自己分析 (複数可)	<input type="checkbox"/> 知識不足 <input type="checkbox"/> 生徒に関する情報不足 <input type="checkbox"/> 誤った思い込み <input type="checkbox"/> 口頭指示による思い込み <input type="checkbox"/> 気持ちのあせり <input type="checkbox"/> 機器の操作ミス <input type="checkbox"/> 確認不足 <input type="checkbox"/> 観察・管理不足 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 患者への説明不足 <input type="checkbox"/> 指示ミス <input type="checkbox"/> 管理ミス <input type="checkbox"/> 不可抗力 <input type="checkbox"/> 経験不足 <input type="checkbox"/> その他 ()
------------------	---

防止策	----- ----- -----
-----	-------------------------

所属長の指導	----- -----
--------	----------------

※事例レベルの高低に関わらず、発生後、速やかに提出してください。